

ごあいさつ



平成26年度市政年報を発行するに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

平成22年3月に新生「栃木市」が誕生して以来、早いもので本年3月、本市は市制5周年を迎えました。

この5年間では、旧栃木地区広域行政圏の全ての市町が一つのまちとなって、ともに同じ道を歩み始めることができました。

6年目となる本年は、これまで築き上げてきた成果を礎に、次代を見据えたまちづくりを力強く推進し、16万都市として新たな飛躍の第一歩を踏み出したいと、決意も新たにしております。

この節目の年に当たり、来る11月13日には市制5周年記念式典を開催し、「市の木・花・鳥」、「市歌」を公表することとしております。特に市歌の制定については、今後多くの市民の皆様へ愛唱され、歌い継がれることにより、世代を超えた郷土愛が生まれ、新たな一体感が醸成されるきっかけとなることを期待しています。

現在、本市においても地方創生や人口減少対策は喫緊の課題であり、取組の強化が急務となっております。若者が集い、定住し、にぎわい、市民の皆様が夢と希望を持てる名実ともに複合文化都市にふさわしい栃木市をつくるため、市域の均衡ある発展と多様な地域資源を生かした一体的なまちづくりをしっかりと進めて参りたいと思っております。

結びに、市議会をはじめ、市民の皆様への温かいご理解と更なるご支援を賜りますようお願いを申し上げます。平成26年度市政年報の発行に当たってのごあいさつとさせていただきます。

平成27年8月

栃木市長 鈴木俊美